

## 花の宴 第20回を迎えて

理事長 福岡定晃

ピンクのかわいい花が咲き始めた山野草園内の山桜の下で、会のメンバーや支援していただいている方々、地元の方々と共に平成14年4月第1回花の宴を開催してから早5年、「花の宴～自然を楽しむ会～」も20回目を迎えようとしています。「里山の自然を多くの方々に楽しんでいただく」「活動の成果を見ていただく」そして「自然保護に関心を持っていただければ」「願わくば会の活動に参加いただければ」「いろいろな面で助言をいただければ」等々の思いで重ねてまいりました。

思い起こせば、数々の失敗もありました。「ササユリとホタルの夕べ」ではササユリとホタルの時期が合わなかったり、「ヤマユリと里の夏」でヤマユリが咲かなかったり、自然に合わせる難しさを感じました。最も困らせたのは雨でした。「このイベントにはよく雨が降るな」「また雨か」。それでも、少なくとも毎回50名以上の方々が参加してくださいました。第14回まで、延べ約3,000人の方が参加していただいたようです。

イベントの開催も経費は最小限にして、運営も熱心なボランティアに支えられて実施してきました。今回は駐車場の案内や整理にはスタッフが付きませんが、参加者の「他人に迷惑をかけない、自主的な判断」にお任せしたいと思います。参加される皆さんには、会員やボランティアと同様に『花の宴』を運営するのだとの思いを持ってご参加いただければと願っています。

## 9月の活動

赤い花のそばの種まきは9月2日にばら蒔きで行いました。8月に予定していた種まきが遅れましたが、そばの成長は著しく9月末には高さ40cm程度になり、花を咲かせ始めています。

秋野菜の畑作りも遅れ、さらに秋雨もあって種まきは16日になりました。防虫と保温のため白いネットを掛けましたが、ネットが不足のところはカンレイシャ掛けにし、まったく掛けていないところもあります。

大きなトマトは覆いを風に飛ばされて、満足にできませんでしたが、ミニトマトはたくさん収穫し、アゼマメは特に好成績です。ハヤトウリの収穫が始まっています。毎年11月のウォーキングフェスティバルで好評のハナナスが今年はずでに色づき始めています。藍の二番刈りも行いました。

畑のネット掛けには割り竹を使用し、そば畑の真ん中の野草保護地には竹垣をめぐらせました。



そばの種まき



そばの種まき



9月末の高嶺ルビー



秋野菜の  
ネット掛け



ニガウリ



シソの収穫



ハナナス



藍の刈取りと乾燥



左 アゼマメの豆むしり

右 ハヤトウリ採り



藁干し

## 9月9日 貝ヶ平山・白木方面ハイキング

コース： 山野草園－割石神社－真平山中腹－金平山妙見堂－貝ヶ平山－金平山妙見堂－修行の滝－白木棚田－(高蕙神社)－山野草園 約9km 10時出発 16時過ぎ帰着

「貝の化石がかたんに見つかる」との理事長の情報と、宮武頼夫元大阪自然史博物館館長の「エゾゼミを調査している」との情報もあり、楽しみがいっぱいの秋の山野草を巡るハイキングでした。

クヌギの木でコクワガタとミヤマクワガタを見つけたり、ツルリンドウ、ヤマジノホトトギスなどの秋草を見ました。ナツハゼが実りはじめていて採取しました。真平山中腹で「ギー」と連続してなくエゾゼミ、妙見堂でも聞け

ました。昼食後、貝ヶ平山のきつい尾根道を汗して登り、822mの三角点のある山頂に着きましたが、杉の植林で見通しはありませんでした(写真)。ここでは「シー」という連続音が聞こえ、チツゼミと思われます。山頂から妙見堂へは急坂を下り、足場の悪さとクマイチゴ、ウルシに悩みました。修行の滝への急坂を下ると、滝の下の河原に多くの貝の化石が見られました。周辺はツリフネソウとアキギリが咲いていました。白木の棚田は黄金色に輝き、刈り取り・ハサガケが行われていました。猪に荒らされた田が悲しい情景でした。



### 9月12日 纏向校区人推協のみなさん

纏向校区人権推進協会から管外研修に16名の方々が来訪されました。最初にPPTを使って、福岡理事長が会の目的・経過・活動など、芳原副理事長が山野草・生き物について説明しました。このなかで里山の復旧維持管理が重要なこと、子供たちが自然に触れられる場所であることを理解してもらいました。説明の後、復旧した池まで歩いていただき、珍しいツチアケビの実や赤い花のそばの芽生えの様子を見ていただきました。さらにシュロバツづくりに楽しんでいただきましたが、保育所や小学校の先生方がすぐに覚えていただきました。

### 9月16日 笠地区のそばピクニック

秋野菜の種まき、ネット掛けの合間に恒例のそばピクニックに出かけました。朝のうちの雨で出足が心配されましたが、結構な人出でした。われわれの展示もなされていました。白いそばの花が美しくいっせいに咲いていました。

### 9月29日 シニア自然大学・インタープリテーション科の研修訪問

インタープリテーションとは「自然と人間との間の通訳、自然の発するメッセージを分かりやすく伝え、自然とのふれ合を通して喜びや感動を分かち合う解説活動」と訳されています。今回20名近い方々が訪問され、秋の山野草園を中心に里山を満喫していただきました。理事長と副理事長が案内しました。

## トピックス

### 「奈良県希少動植物の保護のあり方に関する検討会」発足

奈良県では平成19年度を目処に「奈良県版レッドデータブック」の作成が進められています。このための調査を通じて「生物多様性」が「人間活動による自然の破壊」「里山などへの人間の働きかけの減少」「外来種や化学物質の影響」により不安定な状態に陥っていることが想像できるとして、「地域固有の生物の多様性を特性に応じて適切に保全」すること、特に「奈良県における希少動植物の保護」を推進することが求められており、奈良県として「どのような方針」で、「どのような施策」から、「誰」が取り組んでいくべきか、保護施策のあり方全般について大きな視点で捉えた提言が必要との位置付けで「奈良県希少動植物の保護のあり方に関する検討会」が発足しました。検討委員は、学識経験者から哺乳類の前田喜四雄氏、鳥類の小船武司氏、両性・爬虫類の佐藤孝則氏、魚類の細谷和海氏、植物の菅沼孝之氏、昆虫類の櫻谷保之氏、環境全般の西田正憲氏、環境社会学の渡邊伸一氏、一般からは環境全般で辻由子氏、自然保護で当会理事長の福岡定晃の10人となっています。9月29日に第1回の検討会が開催され、今年度中に意見がまとめられる予定です。

### 大和高原文化の会では

理事長が参加しています大和高原文化の会(奈良県山添村三ヶ谷 植村勝彌会長 平成18年設立)では、「大和高原の文化」のPRのため様々な活動が始まりました。奈良新聞では「大和高原の未来を探る」と題して9月より月2回の連載が始まっています。当面は歴史的な紹介になります。

国際奈良学セミナーハウスでは10月18日、12月4日、2月21日の3回にわたり「大和高原文化セミナー」が開催され、11月28日には大和高原観光バスツアーも行われます。バスツアーでは今回は山野草園はコースに入りませんが、今後コースに入るよう提案する予定です。

その他、山添村の博物館構想に大和高原文化の会が関わることになっています。

# 9月の花、面白い虫、生き物



左から 昨年秋に刈ったくろがりに現れたフシグロセンノウ ひっつき虫のフジカンソウの実  
水の溜まった池に生え始めたガマとアゼナ ミヨウガの実(実を結ぶことがある、実の中は赤い)



左から  
サウヒヨドリの  
頭花  
キクイモ  
サクラタデ

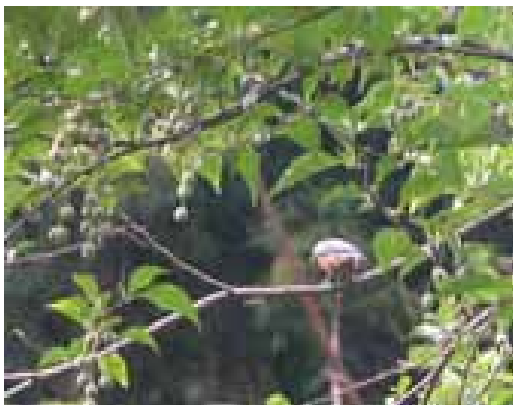


白木で見た  
ヤマカガシ  
首もとが黄色  
く若そうだ  
長さ1mたらず



オオバジャノヒゲの実

ミズオオバコの花



シオデの葉を食べるルリタテハの幼虫



ウドの蜜を吸う 上 アカタテハ  
下 キタテハ

ヤマガラがエゴノキの実を集めている。  
鳴き声はツーツーピー、ツーツーピー

オオカマキリ  
のが飛ん  
できて身構  
えた



コカマキリがこ  
ちらをうかがっている  
前足のマークが怪しい



ショウリョウバッタ



ハンミョウを見るのは珍しい



## 山野草の里・山野草園にこれから咲く花

**10月** ツリフネソウ、ツルニンジン、イナカギク、キチジョウソウ、イヌタデ、サクラタデ、シュウメイギク、タムラソウ、ノコンギク、ヨメナ、ヒガンバナ、フユノハナワラビ、ミズヒキ、リュウノウギク、リンドウ、ソバナ・・・

**11月** シロダモ、サザンカの花、サネカズラ（ピナンカズラ）、ヒヨドリジョウゴ、ガマズミ、コバノガマズミ、ヤブコウジ、サワフタギ、ゴンズイ、ヒサカキ、ヤブムラサキ、フユイチゴ、キチジョウソウなどの実、紅葉、草紅葉・・・

### 10月・11月の活動

**あなたのご参加を  
お待ちしております！**

- 10月 4日(水) 活動日  
7日(土) 活動日  
11日(水) 活動日 桜井市立第5保育所 園外保育(来訪)  
14日(土) 活動日 よみうり天満橋文化センター(来訪)  
18日(水) 活動日  
21日(土) **第20回花の宴 ~自然を楽しむ会・秋~ 赤いそばと里の秋**  
**キッズ自然体験IN山野草の里**  
22日(日) 桜井市「鎮守の森を観に行こう会」来訪  
25日(水) 活動日  
26日(木) 奈良県広陵町 広陵町人権セミナー(広陵町・理事長講演)  
28日(土) 活動日  
29日(日) **桜井東人権文化祭(出展)**
- 11月 1日(水) 活動日  
4日(土) 活動日 **藍染め教室(山野草園)**  
5日(日) **桜井市ウオーキングフェスティバル(芝運動公園・出展)**  
8日(水) 活動日  
11日(土) 活動日  
11日(土)~12日(日) 第39回人権教育研究大会(天理大学・実践報告)  
13日(月) **シニア自然大学11期緑組同窓会(来訪)**  
15日(水) 活動日  
18日(土) 活動日  
22日(水) 活動日  
23日(木) **奈良県児童館協議会交流会(来訪)**  
25日(土) 活動日  
29日(水) 活動日

「活動日」の内容： 野菜畑の管理、自生地の管理、ピオトープづくり、里山林機能回復整備など

- ・天候などの都合により活動内容を変更又は中止する場合があります。参加いただける方は、当日午前8時頃までにお問い合わせください。前もって参加の連絡をいただいた方には当方からご連絡します。
- ・いずれも午前9時30分に山野草園へ集合願います。
- ・平日は弁当をご持参願います。  
土曜・日曜は、ボランティアしてくださる方の昼食はみんなで作ります。予め参加ご連絡下さい。
- ・服装は、作業のできる服装で。カップ、ゴム長靴、着替えもご用意下さい。
- ・いずれもご連絡は下記まで願います。

NPO法人 山野草の里づくりの会 <http://www.sanyasou.org/>

〒633-0102 桜井市三谷528番地 福岡定晃内

TEL/FAX 0744-48-8105(福岡) E-mail [fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp](mailto:fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp)

編集 芳原